

一般社団法人 WheelLog

WheelLog
ウィーログ!

WheelLog

団体名 一般社団法人 WheelLog
法人設立 2018 年 8 月

代表理事 織田友理子
理事 牛山 大輔（ハリウッド株式会社 代表取締役社長）
櫻井 政考（東京都立大学 総務部 特命担当部長）
高橋 ゆき（株式会社ベアーズ 取締役副社長）
野村 美通（M & K コンサルタンツ株式会社 代表取締役）
監事 内野 真人（公認会計士）

最高技術責任者 伊藤史人（島根大学総合理工学研究科 助教）
最高知識責任者 吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所 代表取締役）
事務局員 織田洋一、松下雄一

目的 障害者や高齢者、ベビーカー利用者などの移動に困難を抱える方向けにバリアフリー情報を発信し、社会全体のバリアフリーに関する理解を普及させること

事業内容 (1) バリアフリーに関する情報の提供
(2) バリアフリーに関する調査及び研究
(3) 街歩きイベント企画及び運営
(4) オリジナル商品の企画、開発及び販売
(5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

所在地 〒 102-0073
東京都千代田区九段北 1-15-2
九段坂パークビル 4 階 M&K コンサルタンツ内

電話番号 050-5437-0791
メールアドレス info@wheelog.com
ホームページ https://wheelog.com/

SUPPORTED BY



An Expo 2020
Dubai Initiative

MIT SOLVE

MFF Morgridge
FAMILY FOUNDATION

GENERAL MOTORS



みんなで作る！
車いすでもあきらめない世界

難病や事故など様々な理由で車いす生活になります。車いすだと思いうように動けずに消極的になってしまうこともあります。その状況を少しでも変えたいです。そして Wheelog! を通して「車いすでもあきらめない世界」をみんなで作りたいです。何が起きたとしても自分の持っている力を発揮し生き抜ける社会に。



私たちは企業スポンサーや個人サポーターをはじめ、多くの方のご支援により事業を展開しております。心より御礼を申し上げます。車いすでもあきらめない世界を実現するためにこれからも活動を展開してまいります。

織田友理子

一般社団法人 WheelLog 代表理事

- » NPO 法人 PADM（遠位型ミオパチー患者会）代表
- » 総務省地域情報化アドバイザー
- » 東京都福祉のまちづくり推進協議会 専門部会委員
- » 社会福祉法人小田原福祉会 評議員
- » Her Abilities Award 審査員

◎これまでの活動

思い返せば、私たちの活動は 2015 年の Google インパクトチャレンジでグランプリを受賞させていただいたことから始まりました。そして、2017 年には六本木のハリウッドホールにてアプリのリリースイベントを開催しました。イベントでは小池百合子都知事が駆けつけてくださり、300 名近くの方が参加していただいたおかげで、華々しくスタートすることができました。しかし、アプリをリリースしてからの事業化はとても厳しいものでした。

◎国内での活動

スポンサー企業や個人サポーターなど皆様のご支援のおかげで、団体として一つ一つ事業を積み重ねていくことができました。2019 年度は観光庁から、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技会場周辺のレストランをガイドブックにまとめる事業を受託することができました。今後も国土交通省や各地方自治体とも連携させていただきながら、様々な活動に取り組んでいきたいと思えます。その他にも、2019 年 8 月に 24 時間テレビに取り上げていただき、視聴者の皆様から大きな反響をいただきました。クラウドファンディングにも挑戦し、たくさんの方からご支援をいただいたおかげで、Web 版のバリアフリーマップを開発することもできました。

◎海外への展開

私たちの活動は国内だけでなく、海外からも高い評価を受けております。観光大臣会合では世界 20 カ国の大臣に向けて WheelLog! をプレゼンする機会に恵まれました。さらに、アメリカマサチューセッツ工科大学 (MIT) や、2021 年のドバイ万博で、助成プログラムを受けることができました。国境を超えて多くの方が、私たちが目指す「車いすでもあきらめない世界」の実現を願っているのだと実感しております。

◎世界一あたたかい地図へ

WheeLog! は世界一あたたかい地図へと成長しています。白地図だったこの地図も、今や 2 万 7 千人のユーザーによって、3 万件のバリアフリー情報が投稿されるまでになりました。地域で開催されるイベントだけでなく、大学や高校の障害体験授業として、また SDGs を学ぶ企業研修として、WheeLog! を活用していただいております。車椅子ユーザーもそうでない人も、このアプリに参加される意義を感じてくださっているのではないのでしょうか。

◎情報を集めるだけのアプリではない

当初、WheeLog! アプリをリリースした頃は、ただただバリアフリー情報を集めることが、バリアフリー社会の発展に繋がると認識しておりました。しかし、今では「人と人とのつながり」がバリアフリー社会の実現には欠かせないものだと実感しております。全国各地でイベントを開催すると、人と人との輪が無限に広がり、その波動が全国に広がっていくのを肌身で感じます。どんなことをするにも、大切なのは関わっている人です。これからも、人と人とのつながりが広がる「世界一あたたかいコミュニティ」を形成しながら、老若男女すべての人が参画する地域共生の「バリアフリー社会」を構築していきます。

◎みんなで明るい未来をつくる

同じ事象が起こったとしても、すべてはその人の捉え方によって見える世界は変わってきます。将来を悲観することなく、この WheelLog! と繋がっているからこそ、どこまでもポジティブに生き抜いていけますように。私たちの活動が、明るい未来をつくる一助となるよう、皆様と進んでいきます。引き続きのご支援を何卒よろしくお願いいたします。

①情報システム事業

バリアフリーマップ「WheeLog!」

- ・アプリのアップデート
- ・ウェブ版開発
- ・オープンデータ

②イベント啓発事業

街歩き体験

- ・地域共生イベント
- ・教育プログラム
- ・SDGs 企業研修

③調査コンサル事業

バリアフリー調査

- ・複合施設の調査
- ・バリアフリー飲食施設ガイド

④行政連携事業

各省庁との連携

- ・政策提言 / 実証実験（国土交通省）
- ・観光大臣会合（観光庁）
- ・超福祉の学校（文部科学省）

⑤海外開拓事業

海外への発信

- ・MIT Solve
- ・ドバイ万博 2020

WheelLog! のバリアフリー情報

「点」のスポットと「線」の走行ログを組み合わせる「面」のバリアフリー情報がわかる！

ネイティブ環境での開発移行をはじめ、多言語化（10言語）への対応、タイムラインやメインメニューの表示変更など、アプリの継続的なアップデートを行っています。

これらのアップデートはWheelLog! 個人サポーターやスポンサー団体様のご寄付、各種助成金を元に実施しています。

スポット情報

WC 点字 車いす 歩行 自転車

スポット数：38,000件

点

車いすの走行ログ

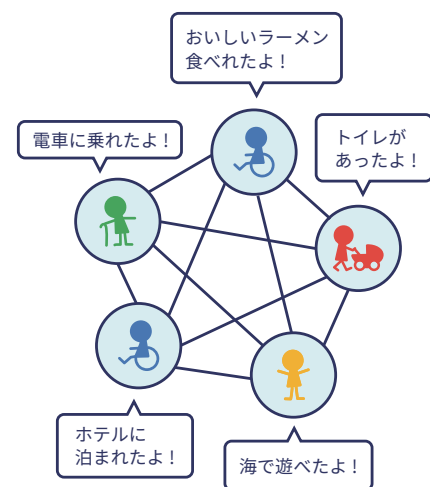
走行距離：7,500km

線

みんなでつくる
世界で一番
あたたかい地図

バリアフリーマップ「WheelLog!」

みんなでつくるバリアフリーマップ WheelLog! を開発・運営



アプリの特徴

- ①車いすの体験が集まっている！
- ②車いすで通れる道がわかる！
- ③ユーザーの7割が歩ける人！
- ④世界中のバリアフリー情報がわかる！

WheelLog! は、車いすですぐ実際に通った道や、ユーザー自身が実際に利用したスポットなど、ユーザー体験に基づいたバリアフリー情報が集まっている「ユーザー投稿型」のバリアフリーマップです。スマートフォンのアプリで提供しており、どなたでも無料でご利用いただけます。WheelLog! を使えば、世界中のバリアフリー情報をアプリで検索・投稿することができます。

無料ダウンロード



ウェブ版

パソコンで利用できる Web 版を提供

スマートフォンを使用できない重度の障害を持った方など、より多くの方にバリアフリー情報を届けられるよう、パソコンで利用できる Web 版を提供しています。

開発にあたりクラウドファンディングを実施し、286 名の方から 432 万円のご支援をいただきました。



<https://app.wheellog.com/>



オープンデータ

自治体や企業が公開しているオープンデータを活用して情報を充実化

自治体や企業が提供しているバリアフリートイレやエレベーターなどのオープンデータをアプリに取り込んでいます。オープンデータをご提供いただける事業者様は事務局までお問い合わせください。
info@wheellog.com

主なオープンデータ提供団体



7052 件 バリアフリートイレ / エレベーター



370 件 バリアフリートイレ



217 件 バリアフリートイレ



4627 件 バリアフリートイレ（毎月更新）

障害者も健常者も みんなで楽しむ街歩き

街歩き体験

車いすで街を散策する体験イベントを全国各地で開催

街歩き体験は全国各地で開催されており、バリアフリーを通して地域活性化を促進させる「地域共生イベント」、福祉を学ぶ学生のための「教育プログラム」、社員教育のための「SDGs 企業研修」など、様々なコンテンツに展開しています。

全員が車いすユーザー！
リアルな街で車いす体験



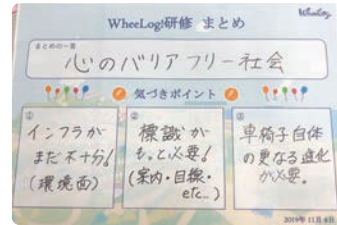
全参加者が車いすに乗車して街歩きを体験します。実際に車いすを利用しているメンバーに車いすの使い方、公道を歩く時の危険性について教わることで、車いすユーザーのリアルを体験できます。

ミッションに挑戦！
ゲーム感覚で車いす体験



1 チーム 5 名程度で街に出て、ランチを食べたり、ミッションにチャレンジしながら、ゲームを楽しむように街を散策します。街歩き後はチームに一体感が生まれ、参加者同士がとても仲良くなります。

みんなで深める！
気づきと体験のシェア



車いすを身近に感じ、今ある問題点を知ることで、街で困っている人がいたらどのように声をかけるか？など、気づきや感想を発表します。他の参加者の体験を共有することで更に深い学びにつながります。

参加者全員が車いすユーザーになって、街の散策を通して、
バリアフリーについての気づきを得られる体験型のイベント

地域共生イベント

全国各地で市民参加イベントを開催

大人から子供まで、障害のあるなし関わらず、地域の市民の方が参加しています。「車いす」というキーワードで、家族や友人が車いす利用者の方、リハビリ職や介護職に携わる医療専門職の方など、様々な属性の方が集まり、街歩きをします。地域のイベントとしてこれまで全国 22 カ所で開催され、のべ 1000 名以上の方が参加されました。



親子で一緒に街歩きに参加 @ 横浜
(2019 年 4 月)

仙台医健・スポーツ専門学校での教育プログラム
(2019 年 9 月)



教育プログラム

教育機関向けの授業プログラムを提供

一般の障害体験の授業をすると「障害は大変（健常で良かった）」という単純な感想になりがちです。WheeLog! を使って情報をアップすることで「大変なことをどうしたら解決できるのか」「自分たちにできることはないのか」という当事者意識を生徒に醸成することができます。自分たちが暮らす地域の問題点について考え、情報を共有することの大切さを生徒が実感できる良い経験になります。



街歩きイベントでは
懇親会も開催 @ 京都
(2019 年 7 月)

薬樹株式会社での
企業研修
(2019 年 11 月)



SDGs 企業研修

体験を通して SDGs を学ぶ

車いす当事者を講師に招き、SDGs についての研修を行います。研修ではバリアフリーについての講義に加え、街歩き体験を実施します。講師とともに街で実体験することで、座学や社内での体験乗車会だけではわからない、様々な学びを得ることができます。体験を通して「自分ごと化」して考えるチカラを身につけます。

教育プログラム無償提供



伊勢崎興陽高校福祉科の教諭にご協力いただき制作しました。ホームページにて Word ファイルで無償提供しています。詳しくはお問い合わせください。

WheelLog! in 小田原

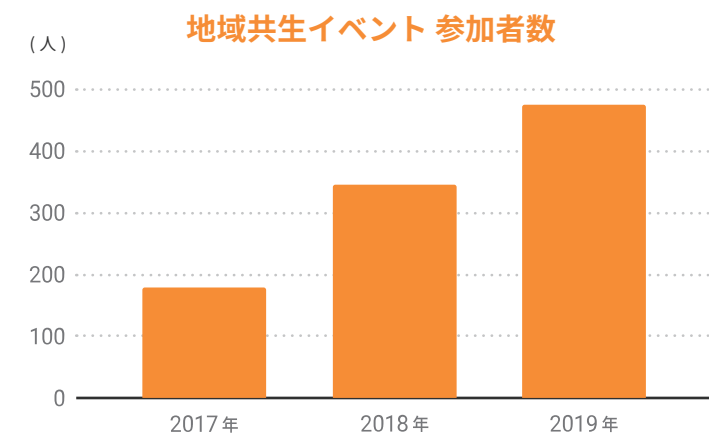
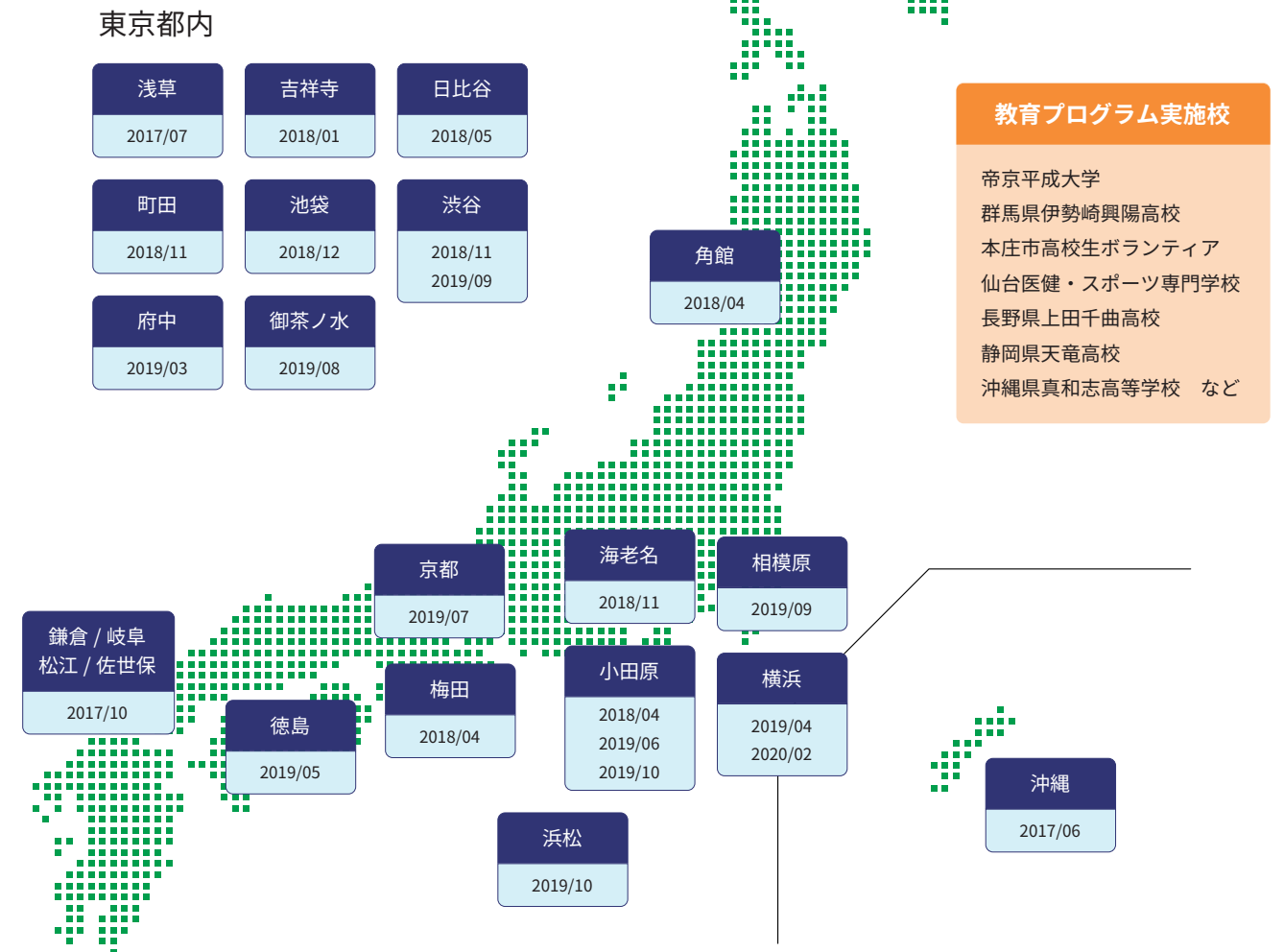
神奈川県西部地区リハビリテーション連絡協議会の取り組みを紹介

神奈川県西部地区リハビリテーション連絡協議会の皆様が、小田原市で WheelLog! の街歩きイベントを中心に、地域に根ざした活動を続けています。ここでは WheelLog! の活用事例として、小田原市での取り組みを時系列で紹介します。



WheelLog! in 〇〇

これまで開催してきた街歩き体験イベント



全国 **29** カ所

参加者 **1000** 名以上

満足度 **88** 点以上

バリアフリー飲食施設ガイド

観光庁の委託で飲食施設のバリアフリー情報を掲載したガイドブックを作成



バリアフリー飲食施設ガイドは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（東京 2020 大会）を契機として来訪する外国人旅行者に対して紹介していくことを目的としたガイドブックです。国土交通省観光庁発の企画競争に参加し、企画実施力や実績に対して高い評価を受け、本事業を受託しました。

本事業は、①バリアフリー調査項目の策定、②飲食施設への取材交渉、③実地調査、④ガイドブックの制作と、仕様策定から制作までの全ての工程を、WheeLog! 支援者のご協力のもと行いました。

本ガイドは観光庁ホームページに掲載され、オープンデータとして自治体や民間事業者など、広く一般に提供される予定です。



ガイドブック制作の流れ

調査項目の策定

調査項目の策定にあたっては、観光庁と協議を重ね、飲食施設に必要なバリアフリー情報およびインバウンド情報を選定しました。特に、視覚的に多くの情報を得られる写真を多用すること、視覚障害者へ配慮したルート案内を記載することなど、障害当事者らの声を反映させながら調査項目を策定しました。

1

飲食施設の取材交渉

東京 2020 大会競技場の周辺および最寄り駅、都心主要駅周辺の地域の中から、本ガイドの趣旨に同意し、ご協力いただける飲食施設様へ取材交渉を行いました。本ガイドではバリアフリーおよびインバウンド対応を行っている飲食施設 109 件にご協力いただきました。

2

実地調査

実地調査は 2019 年 11 月～2020 年 2 月の 3 ヶ月にわたって実施し、車いす当事者と歩行調査員の 2 名が調査にあたりました。調査員は WheeLog! 寄付会員の方を中心に、30 名以上の方にご協力いただきました。首都圏外の地方の調査については、各地のバリアフリーセンター様にご協力いただきました。

3

ガイドブックの作成

本ガイドは、紙とデジタルの双方で提供できるよう、ガイドブックという形式で作成しました。また、外国人旅行者に対して紹介するため、日本語版に加えて英語版も作成しました。最終的に 1400 枚を超える写真を使用し、約 250 ページのガイドを制作しました。

4

掲載店舗 **109** 件

誌面 約 **250** ページ

写真 約 **1400** 枚

バリアフリー調査

障害当事者が中心となってバリアフリー情報を調査

WheeLog! では「バリアフリー調査力」を持つユーザーの方の協力を協力をいただき、施設のバリアフリー調査を行っています。調査の中では、障害当事者の視点から気づいたバリアフリーの課題について、具体的な改善策や対応策なども提案しています。

複合施設の調査

サンシャインシティのバリアフリーを調査

株式会社サンシャインシティ様より依頼を受け、東京池袋にあるサンシャインシティのバリアフリー調査を行いました。館内の飲食施設 84 店舗に加え、多目的トイレや水族館、展望台などの館内施設、最寄駅からのルートなど、施設全体のバリアフリーについて調査しました。本調査に際しては WheeLog! ユーザーの方々にご協力を募り、調査に参加いただきました。



観光大臣会合

世界 20 カ国の観光大臣の前で
WheeLog! の活動について紹介

2019 年 10 月 26 日に北海道で開催された G20 観光大臣会合に出席しました。G20 の各国大臣の前で WheeLog! アプリと団体の活動について紹介する機会をいただきました。会合後には日本の赤羽一嘉国土交通大臣をはじめ、世界の参加者の方々からお声がけいただき、WheeLog! の活動に興味を持っていただけました。



超福祉の学校

超福祉展で文科省のプログラムの一つとして実施

2020 年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展（超福祉展）が文部科学省と「超福祉の学校」を実施。そのプログラムの一つとして、2018 年に街歩きのワークショップを実施。様々な気づきと学びを得られるプログラムを行いました。2020 年は文部科学省の方と一緒にセッションに登壇し、これからの福祉に関する教育について様々議論しました。



熱中症対策

車いすユーザーの熱中症についての
オンラインセミナーを開催

環境省の委託事業として、教えて！『かくれ脱水』委員会との共催で「車椅子ユーザーの熱中症予防対策」に関するオンラインセミナーを開催しました。車いすユーザーならではの熱中症の危険性やその対策方法について、検証動画やアンケートを通して解説を行いました。



日本を世界一の バリアフリー先進国に

各省庁との連携

当事者の声を行政に反映

バリアフリー環境の向上には行政レベルでの制度改善が欠かせません。WheeLog! では当事者の声を行政に反映できるよう、各省庁と連携して様々な活動に取り組んでいます。

政策提言

当事者の声を集めてバリアフリー政策を提言

2019 年 11 月 1 日に国土交通省を訪問し、赤羽一嘉国土交通大臣に陳情書を提出しました。今回の陳情書は障害者施策の一環として、公共交通機関のバリアフリー化について 2 つの要望にまとめました。

- ① 駅舎内のバリアフリー化の一層の推進について
- ② 車いす障害者への IC 乗車券の発行について

実証実験

国土省のバリアフリー実証実験に協力

アプリをリリースした 2017 年から、毎年国土交通省のバリアフリーに関する実証実験に協力しています。平成 29 年度はバリアフリーに関するデータの効率的・効果的な収集方法を検証するために、データ収集ツールとして WheeLog! アプリを提供しました。平成 30 年度は池袋駅周辺で街歩きイベントを開催し、バリアフリー情報の収集方法を検討しました。本年度は浜松市で小学生がスマートフォンやタブレットを利用してバリアフリー情報を収集するイベント形式の実証実験を実施しました。



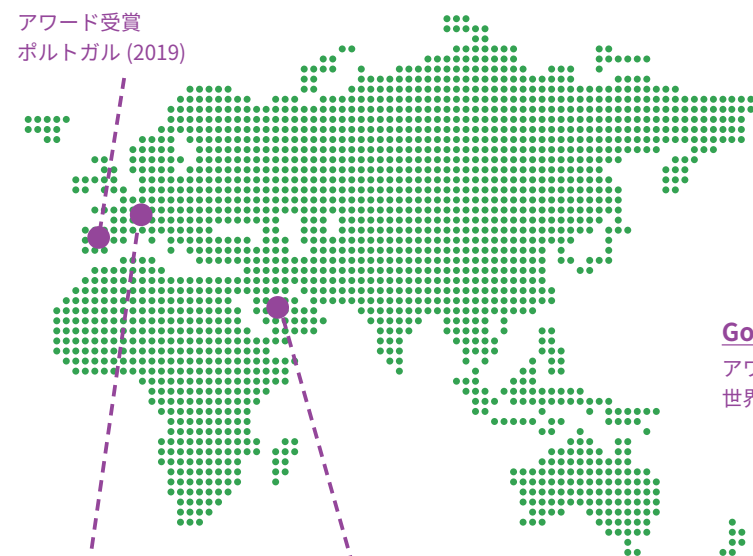
日本から世界へ 車いすでもあきらめない世界

海外への発信

社会問題解決のためのソリューションとして世界から高い評価を獲得

World Summit Award

アワード受賞
ポルトガル (2019)



Zero Project Award

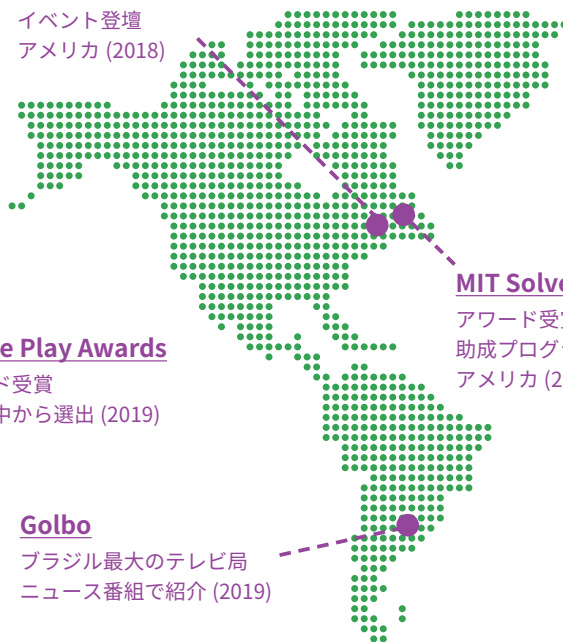
アワード受賞
オーストリア (2018)

EXPO LIVE 2020 Dubai

助成プログラム選抜
ドバイ (2019)

IDB (米州開発銀行)

イベント登壇
アメリカ (2018)



Google Play Awards

アワード受賞
世界の中から選出 (2019)

Golbo

ブラジル最大のテレビ局
ニュース番組で紹介 (2019)

MIT Solve

アワード受賞
助成プログラム選抜
アメリカ (2019)

アワード受賞 **4** 回

助成プログラム選抜 **2** 回

MIT Solve

マサチューセッツ工科大学 (MIT) で世界の 32 団体に選出され、2 つの団体からアワードを獲得

アメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) で社会問題を解決するための助成プログラム「MIT Solve」が公募され、100 以上から 1400 以上の団体が応募しました。WheelLog! はその中でファイナリスト 32 団体の「MIT Solver Teams」に選拔されました。

さらに、アメリカ大手の財団である Morgridge Family Foundation から Community-Driven Innovation Prize を、アメリカ大手自動車メーカーのゼネラルモーターズから GM Prize on Community-Driven Innovation の賞を獲得しました。

現在、MIT のサポートを受けながら、アメリカを起点に WheelLog! を世界に展開するための準備を進めています。



ドバイ万博

Expo 2020 Dubai の助成プログラム「Expo Live」でグローバルイノベーターに選出

Expo 2020 Dubai (2020 年ドバイ国際博覧会) が 2021 年に開催されます。「Expo Live (エキスポ・ライブ)」はドバイ国際博覧会のプログラムの一環で、地球上の様々な社会課題に対し、創造的な解決策を提示するプロジェクトを支援するための助成プログラムです。

これまで 184 カ国から 1 万 1,000 件を超える応募がありました。日本からは 2 団体のみが選出されており、その団体の 1 つが WheelLog! です。

2019 年 11 月には中間報告としてドバイを訪問し、現在の活動について報告してきました。今後 2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで約半年に渡って開催されるドバイ国際博覧会で WheelLog! を展示紹介する予定です。



国内

- Google インパクトチャレンジ (2015 年) グランプリ
- 日本建築学会 技術部門設計競技 (2017 年度) 優秀賞
- 第 16 回情報科学技術フォーラム (2017 年) FIT 奨励賞
- 東京都オープンデータアプリコンテスト (2018 年) 入賞・来場者特別賞
- フェデックス・スモール・ビジネス・アイデア・コンテスト (2019 年) 準優勝
- 総務省 ICT 地域活性化大賞 (2019 年) 優秀賞
- 観光庁 G20 Tourism Innovation Pitch (2019 年) 入賞

海外

- Zero Project Award (2018)
- World Summit Awards (2018)
- WSA Global Congress (2019) Global Champion
- Google Play Awards (2019) Best Accessibility Experience Winner
- MIT Solve (2019) Solver Teams
- Morgridge Family Foundation Community-Driven Innovation Prize
- GM Prize on Community-Driven Innovation
- EXPO LIVE 2020 Dubai (2019) 4th cycle finalist



WheelLog Shop



ショップはこちら

<https://shop.wheellog.com/>

グッズの収益は活動資金として活用させていただきます。

メディア

テレビ

2019/05/25	群馬テレビ
2019/05/27	NHK 徳島放送局
2019/05/28	BS 朝日「Fresh Faces 〜アタラシイヒト〜」
2019/07/17	NHK 京都放送局
2019/07/28	テレビ東京「チェンジ・ザ・ワールド」
2019/08/17	日本テレビ「嵐にしやがれ」
2019/08/25	日本テレビ「24 時間テレビ」
2019/08/25	ブラジルテレビ局 Globo
2019/10/05	NHK 静岡放送局
2019/11/19	テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
2020/02/27	NHK world
2020/02/29	NHK E テレ「高校講座」

新聞

2019/05/25	上毛新聞
2019/05/26	毎日新聞
2019/05/27	徳島新聞
2019/08/03	読売新聞
2020/02/05	朝日新聞
2020/02/06	日経新聞

24 時間テレビ出演



Google CEO との面会



ラジオ

2019/07/24	FM おだわら
2019/11/25	J-WAVE
2019/11/29	ゆめのたね放送局
2020/02/26	FM ヨコハマ

雑誌・ネット等

2019/05/24	米州開発銀行 公式ブログ
2020/02/05	リガクラブ
2020/03/31	東京ボランティアポータル
2019/04	国土交通省 パンフレット
2019/12	『事業構想』2020 年 1 月号

ご寄付

個人サポーター

10,000 円 / 月

5,000 円 / 月

3,000 円 / 月

1,000 円 / 月

毎月 1000 円から個人でご支援いただけるサポーターを募集しています。
支援者の方はサポーター限定コミュニティ (Facebook グループ) に参加できます。

法人スポンサー

100 万円 / 年

50 万円 / 年

30 万円 / 年

10 万円 / 年

WheelLog! では法人向けのスポンサープランをご用意しております。
ご支援の詳細についてはホームページまたはメールにてお問い合わせください。

info@wheellog.com

寄付振込口座

楽天銀行
第二営業支店 (252)
普通 7785882
一般社団法人 WheelLog
シヤ) ウィーログ

1 口 1,000 円より随時受付中



ご寄付の詳細はこちら

<https://wheellog.com/donate>